

目的
目標

短編アニメーション分野の作家に対し、国際的評価やマーケットへ進出する技能習得の訓練プログラムとネットワーキングの機会を提供。同時に、持続的に海外発信をするため国内の主要コミュニティや映画祭をつなぎ活性化させ、ウェブサイト等での海外発信体制を整備するなど、新たなロールモデルを構築し、恒常的に国際的アーティストが活躍する環境を整備する。

概要

唯一無二な世界観を持つ日本の短編アニメーション作品は他国から評価を得ており、世界的プレゼンスを勝ち取る可能性を秘めているが、監督として必要な「企画を作る／脚本を立てる力」「英語でのコミュニケーション力」が不足しており、大学等教育機関を卒業後にキャリアを継続できない作家が多い。本プログラムでは、海外プロダクションとのマッチング・共同開発・ネットワーキングなどを通じて作家のスキル習得の訓練プログラムを実施する。

(分野・ジャンル)

メディア芸術(短編アニメーション)

(渡航先の国・地域)

・欧州・北米・東アジアの主要映画祭 等

(国内外の連携・協力体制)

・世界の主要アニメーション映画祭やコミュニティとのネットワーク

当プロジェクトが提供するプログラム

- ① 新作企画に対する**コーチング**
(売り込み資料制作やピッチの訓練含む)
- ② 育成対象者の特性に合わせて行う国内外のアドバイザーによる**アドバイス**
- ③ 国内外専門家による**レクチャーやワークショップ受講**
- ④ 国内外映画祭等への参加による**作品発表やネットワーキング機会の提供**
- ⑤ 新作の企画開発に関わる費用の**一部支援**
(30~150万円程度の規模)

中核となるクリエイターやアドバイザー(一部)



土居伸彰
本プログラムプロデューサー

参加イベント(一部)



アヌシー国際
アニメーション映画祭



オタワ国際
アニメーション映画祭

採択クリエイター

第一期公募枠アーティスト

●金子 勲矩
『Crabs and Rabbits』



●関口 和希
『アニメーション作家のねこちゃん』

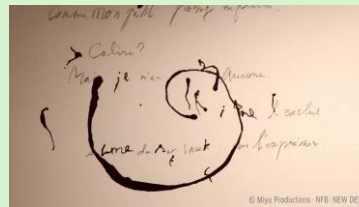


●ひらの りょう
『NIGHT IN THE EYEWALL』



推薦枠アーティスト

●折笠 良



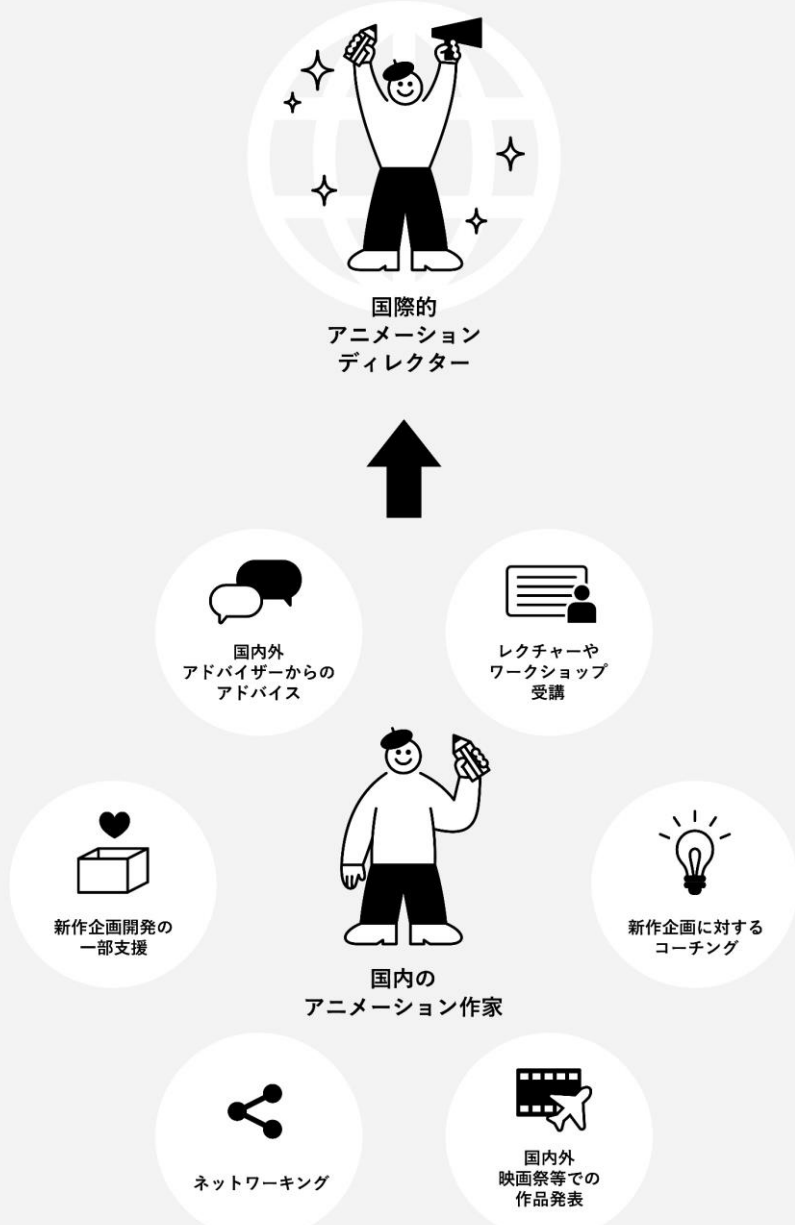
●ニハイ サリナ



●矢野 ほなみ



NeW NeW (ニューニュー) とは

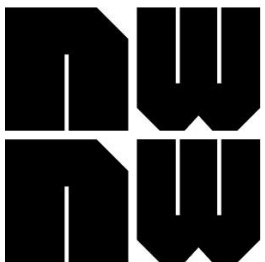


New Way, New World: Program for Connecting Japanese Animators to the World 略称：NeW NeW (ニューニュー)

海外とのネットワークを創出する新たなロールモデルを構築し、恒常的に国際的アーティストが活躍する環境を整備。

短編アニメーション分野の作家に対し、国際的評価やマーケットへ進出する技能習得の訓練プログラムとネットワーキング機会を提供。

持続的に海外発信をするため国内の主要コミュニティや映画祭をつなぎ、コミュニケーションを活性化させ、ウェブサイト等での海外発信体制を整備。



育成ステップ（1～3年目の流れ）

育成プログラム内容

- ・作家の特性に合わせたコーチングプログラムの設定
- ・新作企画に対するコーチング（脚本やビジュアル作りに対するアドバイス含む）
- ・ピッチ資料制作や訓練、実際のピッチ機会の提供
- ・育成対象者のニーズにあわせた、国内外のプロフェッショナルによる企画へのアドバイス
- ・国内外専門家によるレクチャーやワークショップの受講
- ・国内外映画祭等への参加による作品発表やピッチ機会、ネットワーキング機会の提供
- ・企画開発に関わる費用の一部支援

令和6年度（2024年度）

- ・事務局およびアドバイザーの設置
- ・第1期「公募枠」「推薦枠」支援作家の選出
- ・国内の映画祭への参加と企画発表
- ・国内外有識者によるレクチャープログラム

令和7年度（2025年度）

- ・主要な映画祭への参加と企画発表
（欧州：ザグレブ、アヌシー／北米：オタワ／国内映画祭）
- ・プロデューサーに対する支援プログラムの開始
- ・コミュニティスクールの立ち上げ
- ・ウェブサイト（作家データベース）の公開
- ・第2期、第3期「公募枠」支援作家の選出

令和8年度（2026年度）

- ・海外の主要な映画祭への参加と企画発表
（欧州：ザグレブ、アヌシー／オタワ）
- ・プロデューサーに対する支援プログラム
- ・コミュニティスクール
- ・ウェブサイトの充実
- ・支援企画の広報等支援

主な訪問先、映画祭

主な訪問先

世界3大アニメーション映画祭を主軸として効果的な
ネットワーキングを実施

6月（欧州）

ザグレブ～アヌシー（MIFA）+パリ

9月（北米）

オタワ～モンリオール（NFB）

国内アニメーション映画祭

- ・新潟国際アニメーション映画祭
- ・新千歳空港国際アニメーション映画祭
- ・ひろしまアニメーションシーズン

出展先でのクリエイターのミッション

- ・ポートフォリオのプレゼンテーション
- ・キーパーソンへの新作企画プレゼンテーション
- ・ピッチ等のプレゼンテーションへの参加
- ・ネットワーキングパーティへの出席、等



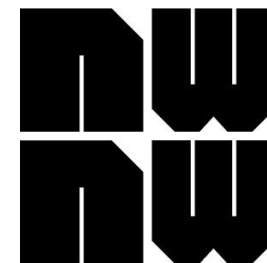
ザグレブ（クロアチア）



アヌシー（フランス）



オタワ（カナダ）



令和6年度 アドバイザー（9名）

アニメーション評論、カンヌ監督週間セ
レクター

**アレックス・デュドク・デ・
ヴィット**



プロデューサー（Miyuプロダクシ
ョンズ）

**エマニュエル＝アラン・レ
ナール**



アニメーションライター、オタワ国際ア
ニメーション映画祭アーティスト
ック・ディレクター

クリス・ロビンソン



プロデューサー、ひろしまアニメーシ
ョンシーズンプロデューサー、株式会
社ニューディアー代表

土居 伸彰



アニメーション監督、脚本家、プロ
デューサー、声優、Adriatic
Animation創設者

ドラシュコ・イヴェジッチ



アニメーション・VRプロデューサー
（Fabian & Fred）

ファビアン・ドリーホースト



アニメーション作家、東京藝術大学大
学教授

山村 浩二



ディストリビューター（Miyuディスト
リビューション）

ルース・グロージャン



エディター、ビジュアルアーティスト、
プロデューサー、ファンタジア映画祭ア
ニメーションプログラマー

ルパート・ボッテンバーグ



推薦枠アーティスト（3名）

本プログラム立ち上げの旗印となる若手作家3名の新作プレゼンテーションをサポート

アドバイザーからの推薦のもと、若手世代のなかですでに国際共同製作の経験があり、著名な海外アニメーション映画祭（オタワなど）でのグランプリ受賞もしている3名を推薦枠アーティストとして選出することで本プログラムの旗印として初年度より国際的プレゼンスを高め、作家本人にも今年発表予定の新作についてプレゼンテーションをしてもらいます。



ニヘイ サリナ

札幌市在住。2014年、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アートのアニメーション科修士課程修了。修了作品『Small People with Hats』が、オタワ国際アニメーション映画祭で短編アニメーション部門グランプリを受賞。帰国後、フリーランスのアニメーターとして短編アニメーションやミュージックビデオの制作を続ける。

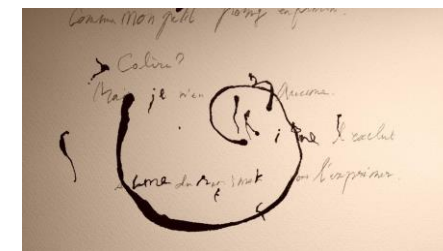


《Small People with Hats》2014



折笠 良（おりかさりょう）

1986年生まれ。茨城大学教育学部、イメージフォーラム映像研究所、東京藝術大学大学院映像研究科修了。2015年～2016年、文化庁新進芸術家海外研修員としてモントリオール（カナダ）に滞在。2023年、MIYUプロダクション（フランス）、カナダ国立映画制作庁（カナダ）、ニューディアー（日本）の共同製作で、『みじめな奇蹟』を制作。



《みじめな奇蹟》2023



矢野 ほなみ（やの ほなみ）

瀬戸内海島生まれ。東京藝術大学大学院映像研究科修了。『骨噛み』（2021）がオタワ国際アニメーション映画祭で短編部門グランプリを受賞。他方で、アニメーションにおけるセクシュアリティやジェンダーの研究、それに伴う上映会の企画など、クィア・アニメーションの研究を進めている。主なクライアントワークに、『TRIGUN STAMPEDE』EDアニメーション、NHK「みんなのうた」「さよならの向こうに」などがある。現在、新作『エリ』を制作中。



《骨噛み》2021

公募枠アーティスト（3名）

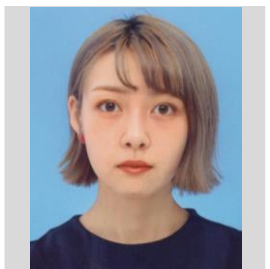
海外展開が期待される作家を新作企画により選出

新作企画をもとに、本プログラムへの参加による活躍が見込まれ、国際的な評価が期待される作家を育成対象者として選出しました。



金子 勲矩（かねこ いさく）

1994年生まれ。2016年、早稲田大学創造理工学部総合機械工学科卒業。2020年、多摩美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。2025年3月まで多摩美術大学グラフィックデザイン学科助手として勤務。これまで『LOCOMOTOR』（2019）、『The Balloon Catcher』（2020）、『Magnified City』（2022）を監督・制作した。



関口 和希（せきぐち かずき）

多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース卒業、東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。自身の体験や感情を通じて、共感と笑いを生み出す短編アニメーション作品を制作している。日本アニメーション協会会員。



ひらの りょう

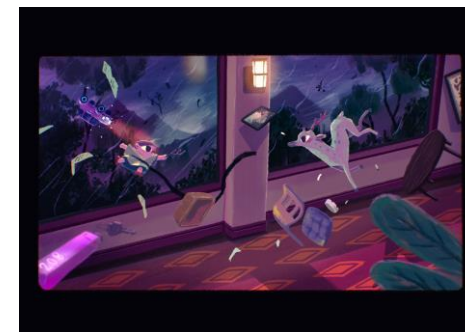
埼玉県春日部市生まれ、長野県在住。作風はポップでビジュアル。漫画『FANTASTICWORLD①・②』や、NHK「みいつけた！」や「みんなのうた」のアニメーション制作のほか、オリジナルアニメーション作品『パラダイス』『KRASUE』などを手掛け、国内外のアニメーション映画祭にも多く参加。近年は編み物教室に通いはじめ、あみぐるみシリーズ『YARN FOREST』を発表。



企画名『Crabs and Rabbits』



企画名『アニメーション作家のねこちゃん』



企画名『NIGHT IN THE EYEWALL』